



夏の森林散策会

太い木がいっぱい オホーツクの森

6月23日(日)、オホーツクの森(古いにしえの森、平安遊歩道)で17名(会員13名、一般3名、常呂川FC1名)の参加で夏の森林散策会を行いました。



「森の家」で開会式を行った後、「しらかば十字園」に移動、3班(ガイド:吉田、小島、近藤)に分かれて散策開始です。

午前中の「古の森」では、樹齢200年を超えるエゾマツ、ハルニレ、シナノキ、イタヤカエデなどを観察、測ると直径1mオーバーのハルニレには驚きの声が上がりました。

また、設置されている「この木、何の木？」の看板に興味津々、看板をめぐって内容を確認していました。

午前中は、6月下旬とは思えないような低温+霧雨模様の中での散策でしたが、おかげで虫も少なく、快適な散策となりました。

「森の家」で昼食後、午後からは平安遊歩道(「森の家」裏山)、設置してある樹名板も活用しながらの散策です。



川沿いの花やクマゲラの食痕を観察、バイケイソウの花には「大きくなるとこんな花が咲くんですね、初めて見ました。キレイ！」などの声が聞こえました。

【参加者多数のため氏名省略】

<近藤>

巨木に圧倒されて

夏の森林散策会

これこそ古の森

「古の森」の散策は初めてで、名ガイドの案内で興味深く回ることができました。

最初に目にしたミヤマタタビは婚姻色の白い葉陰に可憐な梅の花のような花をつけていましたし、ツルアジサイも今が見ごろで心が洗われるような気持ちになりました。

歩みを進めるとハルニレの巨木、幹周りは3mほどもあり、見上げても天辺が見えず、私たちの何倍も生き抜いてきた生命力と立ち姿に圧倒され、これこそ「古の森」と思いました。



お世話してくださった皆さん、ありがとうございました。
最後に二句。

万緑や ぬた場にいくつ 獣跡

さわしばや 谷底深し 落とし文

<尾村教子>

なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに...)

ギンリョウソウ（銀竜草）という葉緑素を持たない（光合成をしない）植物があります。

かつてはキノコの仲間とされていてユウレイタケという別名もありますが、どうやって栄養を得て生活しているのかご存知ですか？



自然に学び隊

古の森は

「森の主」だらけ…？

今年度最初の自然に学び隊は、6月11日（火）、第2回森いくの後、10名で夏の森林散策会の下見を兼ねて「古の森」へ向かいました。

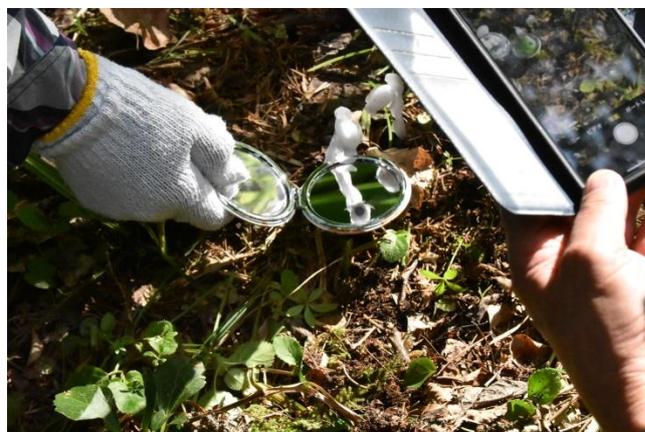
しらかば十字園で、シラカバ、ヤマナラシの多い理由（遷移）を学んだ後、「古の森」へ入ります。

森の中を進むと、エゾマツ、トドマツなどの針葉樹、ハルニレ、シナノキなどの広葉樹、どれも森の主かと思われる太さです。



測ると直径1m超、推定樹齢400年、江戸時代生まれ、ここは「古の森」、よくぞ名付けてくれました。

足元には、紫がきれいなクリンソウ、白く小さな花のズダヤクシュ、葉緑素を持たない植物ギンリョウソウなど、たくさんの花やシダ類があり、名前の由来や成長の仕方などを学びました。



また、遊歩道沿いには「この木なんの木？」の見開きパネルもあり、楽しむことができます。



帰り道の林道沿いではシウリザクラ、ミズキ、オニグルミの花も見ることができましたが、散策会当日は何が見れるか？楽しみです。

<小島>

（参加者は第2回森いくと同じです）

第3回 4コマ写真展

参加者の広がりを感じる！

5月22～27日、NHKぎやらりーで「私が見つけた自然 第3回4コマ写真展」を行いました。

オホーツクの会会員だけでなく、専門学校生・一般も含めて33名（うち新規16名）・48作品（192枚）の応募がありました。（新聞報道では47作品でしたが、取材後に1作品追加されました）



市内の写真愛好家グループや野鳥を中心にした写真集を自費出版している方など、野鳥や動物、風景、自然現象など、玄人はだしのすばらしい作品がずらり・・・参加者の広がり、会の活動アピールもできたのではと思っています。

また、今回の写真展を通じて3名の新規入会者、2,353円の緑の募金がありました。

ただ、来場者が118人と少し寂しかったのが残念です。

<渋谷>

～来場者の感想から～

- ・すてきな写真ばかり！自然に触れ合うことは心にもいいですね。
- ・シマエナガに会いたいです。かわいい♥
- ・仁頃山に行きたくなりました。
- ・皆さんの視点に感動、素敵な写真でした。
- ・自然の美しさと動物の可愛らしさ、同時に楽しめる企画でした。
- ・草花の季節も良いですが、冬も恋しくなります。
- ・自然を、動物を愛する皆さんの気持ちがわかります。
- ・鳥の写真が好きです。春の森は鳥のさえずりでいやされます。
- ・冬の景色、雪・樹木、すてきです。
- ・すてき！次回も楽しみです。

オホーツクの森林づくり

作業は楽

活動参加が楽しみに！

6月16日（日）、北見林業土木協会の皆さん、常呂川FCの方々を含めて21名の参加によりオホーツクの森林づくりが行われました。

「森の家」で主催者あいさつ、日程、注意事項などの説明を受けた後、作業開始です。

今日の作業は、カミネツコン植樹した木が何らかの理由で消失した箇所へ少し大きめの苗（1m程度）を植えることでした。

まずは、仮植して育てていたミズナラ苗4本を掘り取り、車に積み込んで移動、5人1組で2本植えましたが、本数も少なくすぐに終了です。



下山途中、ミヤマハンショウヅルが群生しているところで道草、少し早かったのかまだツボミでした。

早めの昼食後、佐々木行政専門員の案内で「森の家」横の川を渡り、遊歩道を散策しました。

木や植物等の名前や特徴を聞き、鳥の声に耳をすませばアオバトの鳴き声（飛行機の音も）を聞きながら歩いていると素早く動く長さ30cm位の黒い物体にビックリ、慌てて後ろの人の陰に回り込み・・・それでも雑談を交えて散策終了。

オホーツクの会の活動、ふれセンの行事、回数を重ねるたびに森の魅力を感じるようになりました。

<小畑>

（参加人数多数のため氏名省略します）

緑の募金 街頭活動

4月22日（月）、北見市花と緑の市民の会主催による「緑の募金街頭キャンペーン」が行われ、会から4名（渋谷、小山、近藤、小島）が参加しました。



最高気温が2桁に届かない季節外れの寒さで、街頭募金は時間短縮（実質20分くらい）という主催者の判断で早めの終了となりました。

例年のことながら人通りが少なく、中心商店街の活性化という課題を実感させられます。

<小山>

みどりネット全体会議

増毛山道再生にまなぶ

5月14日（火）、オホーツクみどりネットワーク全体会議（総会）がオホーツク総合振興局で開催され、（鞆師）、吉田、小島、渋谷、小林、近藤が出席しました。

全体会議は、コロナ禍期間中は書面会議で行われていたことから顔を合わせるのは実に5年ぶり、活動報告、活動計画、予算、決算などについて承認の後、役員の変更が行われました。

会からは、（代表）鞆師、（理事）近藤、（監事）小島を派遣することとし、長年理事として活動いただいた吉田さんは退任、お疲れ様でした。

全体会議終了後には、【「増毛山道」一筋のこの道を残したい】というテーマでNPO法人増毛山道の会小杉事務局担当理事より講演を受けました。

北海道遺産にも指定されている増毛山道は、延長33km、10年かけて再生させたとのこと、山道開通までの経緯、山道の現状と活用、維持していくための課題などについて話されましたが、会員の高齢化、次代の担い手育成（新陳代謝）など、どこの組織も同じような悩みを抱えているようです。

<近藤>

森いくです

第1回 5月14日（火）、「森の家」等の清掃、「森の家」周辺・平安遊歩道への樹名板設置を行いました。

当初から、午前中のみでの予定でしたが、午後からみどりネットワーク全体会議が行われることから早め（11：00）の切り上げとなりました。

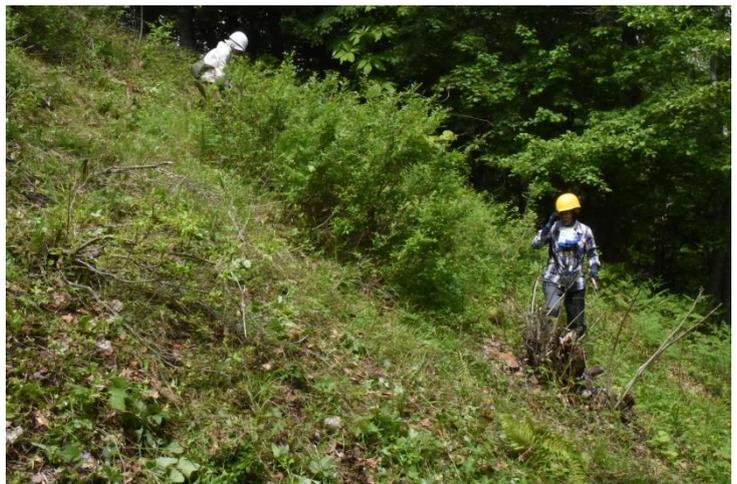
「森の家」（および周辺）は私たちの活動の拠点であり、有効に使用していきたいと思えます。

なお、参加者は7名（吉田、小島、渋谷、小山、植村、小林、近藤）です。

第2回 6月11日（火）、10名の参加により展望台周辺および「古の森」遊歩道整備（落枝整理、草刈り等）を行いました。

はじめに、全員で展望台周辺の整備を行い、少しだけ展望台からの眺望を楽しみました。

その後、手分けしながら「古の森」遊歩道の整備、午後からの「自然に学び隊活動」（夏の森林散策会）に向けて準備万端です。



なお、参加者は次の通りです。【吉田、小島、渋谷、植村、小林、大戸、土門、小畑、相馬、近藤】

<近藤>

悪天候のため中止

7月6日（土）、「山歩き隊」活動<西別岳>

【なるほどクイズ】 答え



ギンリョウソウ(銀竜草)は、樹木と共生する菌に寄生し、樹木が光合成で作った有機物を菌を経由して得ることで生活しています。



かつては、腐葉土などから栄養を得ると考えられていましたが、そのような能力はないようです。(古い書物等ではそのような記載のものもあるとのこと)

COOP さっぽろ活動支援

クラフト作成を楽しむ

6月22日(土)、美幌町で行われたコープさっぽろの植樹活動に4名(小島、渋谷、小山、近藤)が参加しました。

午前中は町有林でカラマツ、ミズナラの苗400本を参加者55名で手分けして植えました。

事前に掘り起こしてあるものの、ササの根がビッシリ張り巡らされていて苗を踏み固めるための土を確保するのに一苦労しました。



午後からは、みどりの村でクラフト作成(指導)、マツボックリや木の枝などを材料に見本に忠実に作る者、自由な発想で大作を作り上げた者など、各々に楽しい時間を過ごしてもらいました。

(コープさっぽろの活動支援、昨年に引き続き2回目です)

<近藤>



天候等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、できるだけ**メール**でお願いします。

h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FCアドレス)

または koei1714@gmail.com

**<イベント名、氏名(カナ)、住所、
郵便番号、生年月日、連絡先>** (様式は任意)

○子ども探検隊<スタッフ大募集>

日時 2024年 7月27日(土) 9:00~
場所 森の家、平安遊歩道
内容 子どもたちと自然の中で楽しみましょう。
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み お手伝いいただける方は7月17日(水)まで
(お手伝いの内容は一任願います)

★子どもたちの参加募集(先着20名)は別途行っていますが、お心当たりの子ども(小学生)がいる場合はお声がけ願います。

○森林のパネル展(共催:常呂川FC)

日時 2024年 8月30日(金)~9月8日(日)
場所 緑のセンター
8月29日(木) 13:30~ 展示作業
8月30日~ パネル等展示
9月7~8日 クラフト作成 ミニ散策会
7日 10:00~15:30 両日とも1日2回
8日 10:00~15:00 10:30~ 13:30~
申込み 参加・協力できる方は8月26日(月)まで

お友だちを誘ってお立ち寄りください。

○第4回森いく活動

日時 2024年 9月17日(火) 9:30~
場所 森の家集合
内容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他
持ち物 作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等
申込み 9月10日(火)

森いく活動は、5~10月の第3火曜日および必要に応じて実施します。

木々に関するつぶやき

【イヌエンジュ】（犬槐）

マメ科の落葉広葉樹で高さ 15m、太さ 30 cm になる。

長さ 20～30 cmの羽状複葉で表面は深緑色、裏面は緑白色、芽吹きの新葉は銀白色に見える。



7～8月に開花、黄白色の径1cmほどの蝶形花を多数つける。
床柱や工芸品として利用、街路樹や公園樹としても植えられる。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



— 納入方法 —

- ・会が主催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・会の口座（ゆうちょ銀行）に振り込む（手数料がかかります）

ゆうちょ銀行（郵便局）から振り込む場合

【記号 19960 番号 08073231】

他の金融機関から振り込む場合

【店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 0807323】

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 メール h_tokoro_f@maff.go.jp

入退会、会費納入等の問い合わせは koei1714@gmail.com へ